

# (有)狭間工業 環境行動計画

平成 22 年 5 月

## 環境方針

産業廃棄物の発生量が全体の 20% を占める建設分野では、その活動において、エネルギー及び資源の利用、廃棄物の搬出により、地域環境、及び地球環境に負荷となる接点が数多くあります。

有限会社 狭間工業は、これらの環境への影響を常に認識し、技術的、経済的に可能な範囲で環境汚染を予防し、環境パフォーマンスの維持、及び継続的な改善を図っていくために以下の方針に基づき環境マネジメントシステムを構築し、全社員一丸となってこれに取り組みます。

1. 環境負荷低減型機械の導入促進と効率的な使用により、環境影響の低減をはかる。
2. 廃棄物の適切な分別と適正な処理をめざし、廃棄物の発生抑制と再資源化をはかる。
3. 地球温暖化防止(CO2 排出抑制)を念頭におき、省エネルギー・省資源の向上に努める。
4. 環境方針を文書化し全社員に知らせると共に環境意識向上と教育活動を行う。

平成 22 年 5 月 14 日

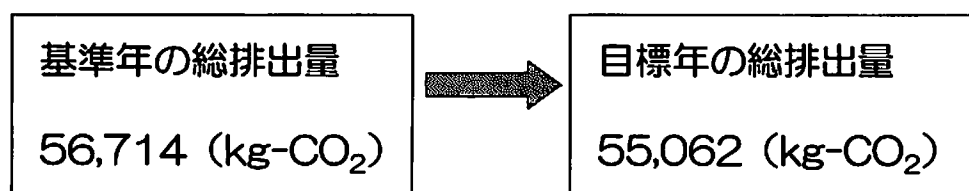
有限会社 狭間工業

代表取締役 狭間 一也

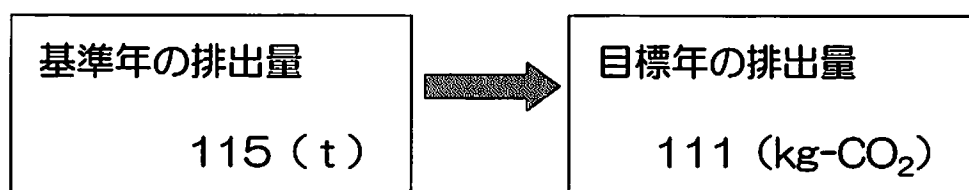
### 3 環境負荷の低減目標

22 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 21 年です。)

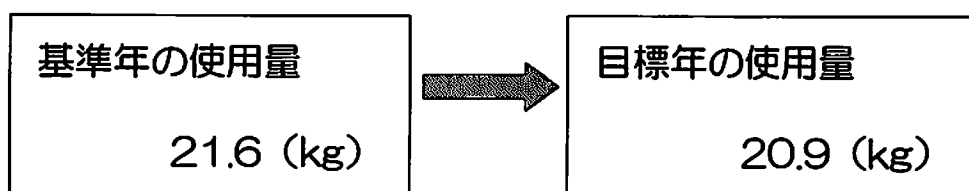
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する



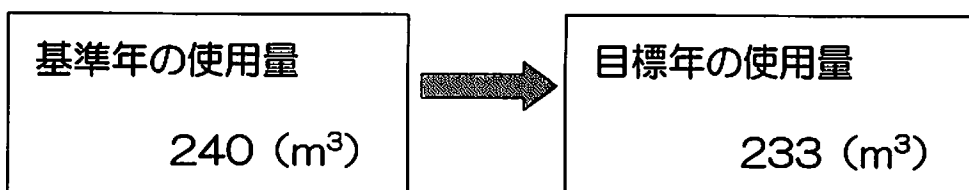
【目標 2】 産業廃棄物の搬出量を 3%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 3%削減する



【目標 4】 【目標 5】 水使用量を 3%削減する



## 4 環境保全に向けた具体的な取組

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

#### 電力使用量の削減

- ① 昼休みや不在時の照明の消灯及び空調機器の停止
- ② エアコンの設定温度を守る。夏季26～28℃・冬季20～22℃程度。
- ③ 長時間使用しないパソコンの電源は切る。

#### ガソリン及び軽油使用量の削減

- ① 急発進・急加速・急ブレーキをしない。
- ② 停車時のアイドリングを減らす。
- ③ 運転時は車の流れに乗り、無駄な加速・原則はしない。

### 2. 廃棄物排出量の削減

- ① 金属屑、ダンボール、紙くずの徹底した分別
- ② As、Coガラの適正処理に努める。
- ③ 資料の電子媒体への保管を推進する。

### 3. コピー用紙の削減

- ① 使用済み用紙の裏面を利用する。
- ② 書類・資料の電子データ化を進める。
- ③ 両面印刷・両面コピーを徹底する。

### 4. 水使用量の削減

- ① 止水の励行、節水に対する啓蒙を行い節水意識を高める。
- ② 給水使用時の水は必要量のみにして、無駄な使用をなくす。
- ③ 節水用品を積極的に導入していく。